

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 6月 24日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
大阪府和泉市小田町一丁目8番1号
氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
日本酪農協同株式会社 代表取締役 後藤 正

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	日本酪農協同株式会社 代表取締役 後藤 正純
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	大阪府和泉市小田町一丁目8番1号

1 事業所の概要

事業所の名称	日本酪農協同株式会社 滋賀工場					
事業所の所在地	大津市あかね町3番1号					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	0	9	1	3	※ 産業分類・細分類名称を記載 処理牛乳・乳飲料製造業
事業の概要	牛乳、乳製品の製造					
従業員の数	77 人		作業時間	15 時間/日		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	3 台	熱源設備	4 台	照明設備	台
	コンプレッサ	3 台	空気調和設備	台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2021	年度	報告対象年度	2024	年度
	終了年度	2025	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

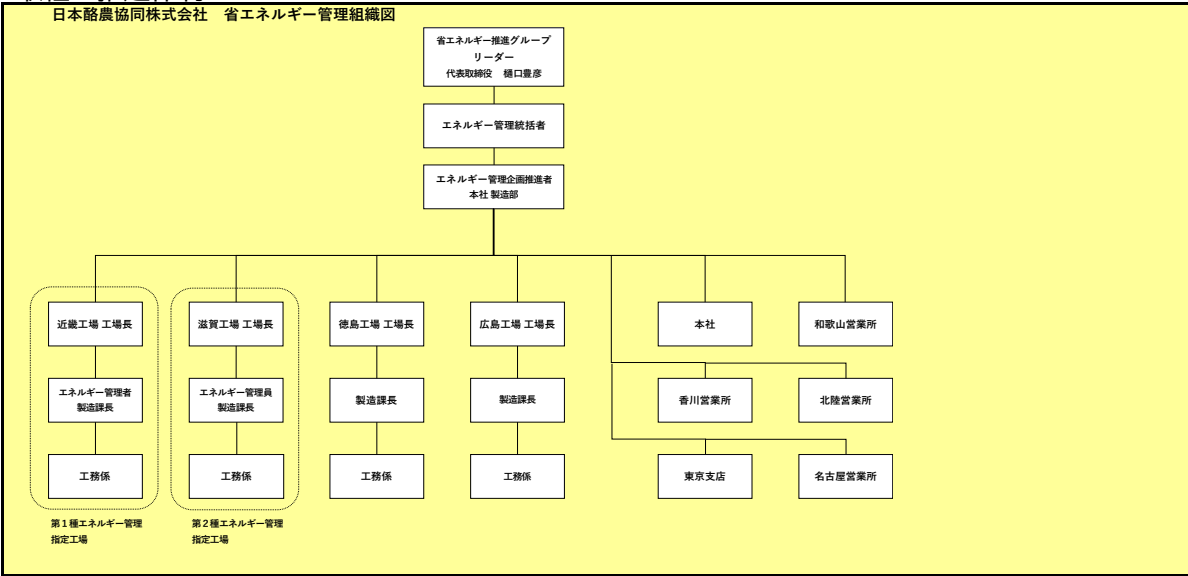
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち<日本酪農協同株式会社>はエネルギー管理方針を定めて、日本酪農協同株式会社における全事業所を対象とし、エネルギー管理規定及び管理標準に基づき運用をしています。

1. エネルギー管理体制
 制定したエネルギー管理体制に基づき、運用管理を行います。
2. エネルギー削減目標
 エネルギー削減目標は、前年度の1%削減を目標とします。
3. エネルギー削減施策
 - ①工場・事業所における施設機器に対するエネルギー使用量の把握・使用量の検証を実施し、省エネルギー基準に満たない施設機器を更新します。
 - ②工場・事業所における施設機器の的確な運用を行い、エネルギーの削減を実施します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- コージェネレーション設備の導入
- 蓄熱設備の冷水ポンプをインバーター制御し運転効率改善 6kL/年 削減
- 大型YGサージタンクライン空検知器設置によるロット切替時間短縮 2.7kL/年 削減
- 工場内水銀灯(400W)をLED(160W)に交換実施 14kL/年 削減
- 高効率コンプレッサー更新と台数制御設備導入 10kL/年 削減
- 高能力ミニ牛乳パック充填機導入による運転時間短縮 17kL/年 削減
- 高能力大型YG充填機導入による運転時間短縮 5kL/年 削減

- 工場内コンベアの待機時ストップ
- 昼休み時の消灯の徹底
- PC不使用時のスタンバイモードの徹底

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	工場棟・事務棟のLED化工事(6箇所検討) 全体で16.2kL/年 削減	2021~2025	2021年度に実施済み
2	設備導入	高効率インバーター制御式エアークンプレッサーへの更新(2基検討)	2021~2025	2024年度に実施済み
3	運用改善	エアークンプレッサー運転台数制御装置導入による省エネ計画	2021~2025	2024年度に実施済み
4	設備導入	ガソリン、軽油式フォークリフトをバッテリー車へ更新(4台検討) 全体で1.9kL/年 削減	2021~2025	2024年度までに3台更新済み
5	設備導入	検査室等のLED化工事(計画追加)	2022~2025	2024年度に実施済み

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		該当なし		
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記の取組等により、2020年度を基準とし、以下の数値目標の達成を目指します。</p> <p>原単位「エネルギー使用量原油換算(KL)÷生産量(千t)」で毎年1%削減</p> <p>なお、原単位の考え方は次の通りです。 エネルギー使用量原油換算は生産量に比例して増減するため、生産量を原単位の指標(分母)として設定しました。</p>	<p>2024年度 原単位 67.7 前年比 106.4% (原油換算エネルギー使用量 1611kL 前年1628kL 年間製造量 23.8 千t 前年 25.6千t)</p> <p>2024年度は前年比1%の削減を達成できませんでした。 製造量の減少によるエネルギー効率が悪化していると考えますが、省エネ設備の導入と設備運転の見直しにより省エネを図ります。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度	(2024)年度	(2025)年度	
原単位換算エネルギー使用量	kL	1,933	1,926	1,926	1,524	1,510	
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,042	3,255	3,043	2,622	2,767	
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,042	3,255	3,043	2,622	2,767	
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			特になし
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					